

FDG-PET/CT 検査予約時における注意事項(医師向け)

【保険適応について】

現在、保険適応になる疾患は、てんかん・虚血性心疾患・悪性腫瘍（早期胃癌を除く）・血管炎です。必要条件は以下の通りです。

● てんかん

- 難治性てんかんで外科手術が必要とされる患者であること。

● 心疾患

- 虚血性心疾患で、その他検査で心筋組織バイアビリティ診断が困難な患者であること。
- 心サルコイドーシスにおける炎症部位の診断が必要とされる症例であること。

● 悪性腫瘍（早期胃癌を除く）

- 悪性腫瘍の診断が確定していること（疑いでの検査は保険適応外です）。

注) 但し、生検リスクが高いなどによって病理診断困難な場合には、臨床上の高い確実性をもつて悪性腫瘍と診断されれば保険適応となります。また、膵癌と腫瘍形成性膵炎との鑑別診断は、従前通り保険適応となります。
(厚生労働省の疑義解釈資料より)

- 病期診断、転移・再発の診断が確定できない症例であること。
- 治療効果判定や経過観察の目的は、保険適応外です。

注) 但し、悪性リンパ腫についてのみ、治療効果判定のためであっても、転移・再発の診断の目的に該当するとして認められます。
(厚生労働省の疑義解釈資料より)

● 血管炎

- 高安動脈炎等の大型血管炎において、他の検査で病変の局在又は活動性の判断がつかない患者に使用する。

【2018年4月より】

【禁食・血糖値について】

- **検査前5時間からの禁食**（禁糖分摂取）をお願いいたします。検査時の血糖値が150mg/dlを超える場合には、集積が弱まり偽陰性となる場合があります。
- 心サルコイドーシスについては、厳密な食事制限（18時間以上）と検査前にヘパリン投与が必要なため、予約時PET-CT室へ連絡して下さい。

【糖尿病について】

- ① インスリン等で一週間以上のコントロールをお願いいたします。なお、検査時に高血糖の場合には、前記の通り偽陰性になる場合があります。
- ② 同時にインスリン、経口糖尿病薬の投与は検査終了まで行わないで下さい。

【Gaシンチについて】

同一月内にGaシンチとPET/CTの同時保険請求はできませんので、Gaシンチを行わないようお願い致します。

【植込み型除細動器について】

検査により誤作動を起こす恐れがあります。原則撮像できませんので担当医とご相談下さい。